

GOA2.5 自動運転を 2024 年 3 月より開始します

JR 九州では、少子高齢化や人口減少が進む中で鉄道ネットワークを長期的に維持していくため、安全性を維持・向上しながら業務運営の効率化を行っています。また、将来にわたる労働人口減少の中で必要な人材を確保するため、作業の自動化や機械化を推進しており、中期経営計画 2022-2024 の「経営基盤の強化-DX 推進」に掲げたオペレーション改革の一環として「GOA2.5 自動運転の実現」に向けて取り組んでいます。

当社は、GOA2.5 自動運転に向けて 2020 年 12 月より香椎線において実証運転を実施し、第三者委員会で検証した上で導入可能と判断した後、必要な行政手続きを完了、2024 年 3 月より GOA2.5 自動運転を開始します。また、これにあわせて 2023 年 12 月より自動運転乗務員（GOA2.5 係員※）の養成を開始します。

※ GOA : Grade of Automation

※ 自動運転乗務員 : GOA2.5 係員（前頭に乗務する運転士以外の係員）

1. 開始時期

2024 年 3 月

2. 対象区間

香椎線（西戸崎駅～宇美駅間 25.4 km）

3. これまでの経過

- ・ 2020 年 12 月

香椎線（西戸崎駅～香椎駅間）にて運転士乗務による実証運転開始

- ・ 2022 年 3 月

実証運転区間拡大（香椎線全線：西戸崎駅～宇美駅間）

- ・ 2023 年 8 月

当社設置の第三者委員会『ATS-DK ベース GoA2.5 自動運転実現検討委員会』とりまとめ

4. その他

- ・ 開始日・対象列車等の詳細は、別途お知らせします
- ・ 第三者委員会の詳細は別紙参照

5. 関連「News Release」

- ・ 2019年12月20日 「自動列車運転装置の走行試験を実施します」
- ・ 2020年12月20日 「自動列車運転装置の実証運転を実施します」
- ・ 2022年 2月22日 「自動列車運転装置の実証運転区間・対象列車を拡大します」



※イメージ（実証運転の様子）

